

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日：2009年3月23日

所属：教育文化学部 国際言語文化課程 日本・アジア文化選修 4年

氏名：佐藤 圭

派遣先大学名：韓国、円光大学

在籍身分：交換留学生

派遣期間：1年

渡航年月日：2008年2月28日

帰国年月日：2009年2月28日

○ 研究・学習概要及び今後の勉学計画

私が行った円光大学の語学院では、読み・書き、聞き取り・会話、文法という3つの授業がありました。読み・書きの授業では教科書の文章を読んで、単語の確認やよく使う文法について学びました。聞き取り・会話の授業では、教科書の内容を聞き取り、その内容に関連していることをクラスで話し合ったりしました。文法の授業では少し難しい文法を学んだりしました。木曜日・金曜日はテコンドー、サムルノリという韓国の伝統楽器、禅と瞑想の授業もありました。

これらの授業を通して、韓国語の上達はもちろん、各国の文化や習慣を学ぶことができました。韓国文化だけではなく、他の国の文化も学べたことにより、今まで知らなかった世界に触れ、自分の視野も広げることができたと思います。

留学に行く前は、将来についてあやふやなまま出発したのですが、韓国で勉強するうちに、もっと勉強していきたいという気持ちも生まれました。

韓国語は文法もほとんど日本語と似ていて、習得するのが楽な言語であるということを知ることがありました。留学してみて、確かに文法もほとんど同じ、ちょっとした単語の発音も似ているものが多々あり、他の国の子達に比べれば、理解するのは楽でした。しかし、楽に習得できるなんて本当噂に過ぎなくて、他の言語同様やればやるほど難しく1年では足りないという気持ちも生まれました。

先の進路は、1年間だけの語学留学だけでは足りないと感じたので、大学卒業後も韓国に戻り、今度はこっこの大学院に進学し勉強したいと思っています。出発前の将来に対するあやふやな気持ちもなくなり、今は大学院進学、新たな将来の夢のために勉強に励みたいと思っています。

○ 生活面について

円光大学の寮は、お世辞でも良い寮とは言えませんでした。

3つある女子寮の中でも一番良い寮にすんでいたのですが、トイレ文化の違い、シャワー一室の使い方、寮の中での生活態度…寮の中での生活で韓国の女の子のイメージが一気に変わったような気がします。

幸いにも私のルームメイトはとても良い子で、生活のリズムもほとんど一緒だったので、部屋の中では快適に生活することができました。他の留学生の中には、韓国人のルームメイトのために苦労している子も沢山いました。

食堂もやはり学校の食堂だけあって、そこまで良かったとは言えませんでした。日本人

である私は日本食と少し似ている部分もあるので、何とかやり過ごすことができましたが、パンを主食としたり、韓国とは全くもって食文化が違う子達は、食のほうでもとても苦労していたのを覚えています。

でもその分、友達と外で食事したりする時間も増え、大学路のおいしい店を見つけたり、安い店を見つけたり、楽しく過ごすこともできました。

円光大学の寮は門限が11時30分で友達と外出しても帰る時間を気にしなければいけなく、とても不便に感じたこともありました。

しかし寮以外の生活面では、韓国の学生に混じってMTという1泊2日の飲み合宿みたいなのに参加したことや、さまざまな国の友達と遊びに行ったりすることができて、本当に貴重な経験ができたと思います。

私は何度か大学の先生にお願いして、韓国の大学の授業に参加できたので、これもとてもいい経験ができたと思っています。

違う国の文化に入り込むというのは、様々な抵抗はありつつも、自分の成長のためにとっても良い勉強ができたと思っています。

○ その他留学全般にわたる感想

留学して1番に感じたことは、1人で留学に行った方がいいということでした。

最初はとても不安に思うかもしれませんが、最初だけを乗り切れば本当に嫌なこともなく、自由で楽しい留学生活を送ることができると思います。

違う国の友達と話すためにも、現地の学生と話すためにも、当たり前にはここでは韓国語が必要なので、積極的に外に出て、積極的に行動すればおのずと韓国語も上達し、控えめな日本人にとってはとても良い経験になるし、先の自分にとってもプラスになると思いました。

行ったばかりのころは、ほとんどが中国人で、最初の中級班の時は私以外が中国人という環境でした。しかし、みんな私と話すために韓国語で頑張って話しかけてくれたり、中国人の友達も沢山できました。このクラスの子達とはクラスが変わっても、遊びに行ったり、毎年集まろうと計画しているほどの仲良しになりました。

2学期の高級班では本当に多国籍のクラスで、インド、中国、ベトナム、ロシア、タイ、ミャンマー、マレーシア、日本という国の友達と勉強してました。ここのクラスの子達は本当に韓国語が上手で、話していても勉強になるし、とても楽しい友達ばかりだったので、よくお酒を飲みに行ったり、ビリヤードをしにいたり、今でも連絡を取り合ったりするほどの仲良しになりました。

本当にこんな経験は留学に行かないとできないし、今までの狭い世界から抜け出し、自分を大きく成長することもできたと思います。

今までのただ何となく過ごしてきた毎日が、どれほど無駄だったのか、自分には語学という勉強が一番あったこと、勉強したいと思うほどの将来の目標、日本では絶対に出会うことができなかった沢山の友達、留学に行って本当に多くのことを経験し、多くの大切なものを見つけ、得ることができました。留学に行くことで自分の人生が大きく変わり、留学にいったことに対する感謝の気持ちでいっぱいです。これからももっと頑張って勉強していきたいと思いました。

